

社会福祉法人 平野の里

# 事業報告書

---

平成29年度

社会福祉法人 平野の里

2018/04/01



## 目次

平成 29 年度を振り返って.....	3
各事業報告.....	5
共同生活援助 グループホームあやめ.....	6
相談支援事業ひらの.....	7
生活介護 障害者支援施設あやめ寮.....	8
今年度の取り組みと今後の展望.....	8
個別活動報告.....	9
りさいくるG.....	9
ふぁーむG.....	9
ふぁくとりーG.....	11
すまいるG.....	11
くりーんG.....	12
虐待防止・権利擁護委員会.....	13
高齢加齢配慮検討委員会.....	15
防災委員会.....	17
事故ひやり委員会.....	18
医務食事委員会.....	19
医務看護部門.....	19
食事部門.....	20
生活支援委員会.....	21
利用者自治会・施設内余暇活動.....	21
施設行事委員会.....	23
あやめ協力会.....	25
実習生・ボランティア.....	26
短期・日中一時.....	27
保護者会担当.....	29
備品係.....	30
車輛整備.....	31
美化.....	32
広報委員会.....	33
ホームページ.....	34
職場研修.....	35
平成 29 年度 主な研修参加実績.....	36
平成 29 年度職員研修旅行(宿泊研修).....	38

関係機関・団体出向者.....	38
採用活動 .....	39
会社説明会実施後のアンケート結果.....	40

## 平成 29 年度を振り返って

社会福祉法人 平野の里  
あやめ寮施設長 倉持 一雄

### 社会福祉法人制度改革の形成

・平成 28 年度の制度改革の実施 ☆制度改革の予定にのって実施しました。移行するまでは多々研修などで学びましたので、特別困惑することなく進められました。今後新たな課題も出てくると思われまますので、スピーディーに的確に対応していきたいと思ひます。

・施設経営状況と計画 ☆法人としては数年後の建替えまたは改築計画の為の積立もわずかながらでもできています。人材確保と連携して働き方改革には人件費や福利厚生費の増は欠かせないことと感ひしました。

・支援員状況 ☆職員関係は新卒者からシニアの方まで幅広く勤務していることが自然な姿と思われまます。平成 29 年度は正職員として 5 名の新卒者と 1 名の中途採用、またパート採用もあり確実に能力発揮しています。退職者は年度末に女性 3 名が寿退職されました。

・施設支援現場状況 ☆利用者様の計画書をもとに進めていますが、日々の生活支援に試行錯誤で自立支援とは理想範囲が大きいのが残念です。実態の中にいますと素晴らしいネットワークも遠くに見えますが、事実を理解している強みから利用者様に寄り添えると感ひまます。入所施設生活の良さがあり、自立支援とは計りの違ひを知って使う言葉であり、平野の里あやめ寮は理念に沿って入所支援の向上があつたと思ひまます。

・地域貢献行事 ☆花見・盆踊り大会・あやめチャリフェスタ・福祉祭り・あんしんセーフティネット・開寮 30 周年記念式典と、地域の方や近隣施設の方と共に過ごすことが出来まました。

・利用者様 1 名が病気入院中他界されたことは残念です。しかしご両親様から「開寮時入所され毎年沢山楽しく過ごせたことは家ではできなかつた」と感謝の言葉を頂きました。施設生活に慣れて、落ち着く方と慣れによってつまらなくなる方が出まます。簡単に、希望通りの所に移動できないことが課題でもありまます。現場支援員は悩みながら支援しています。

## 平成29年度事業体制

設置運営主体 社会福祉法人 平野の里

### 事業種別及び定員

①障害者支援施設 あやめ寮 開所年月日 昭和63年3月1日

#### 主なサービスと定員

入所支援	定員50名
生活介護	定員75名
短期入所	定員 2名(併設型)
日中一時支援	

②グループホームあやめ

- GH あやめ:定員5名
- あやめ壱番館:定員10名
- あやめ弐番館:定員10名

③障害者生活支援センター ひらの

私共、社会福祉法人平野の里は、平成30年3月30日付で、「シニア活躍推進宣言企業」に次いで「多様な働き方実践企業」に認定されました。埼玉県が実施している、女性の力で埼玉経済を元気にする「ウーマノミクス プロジェクト」の取組みの一つに「多様な働き方実践企業」認定制度があります。短時間勤務やフレックスタイムなど多様な働き方を実践している企業を埼玉県が認定するものです。

当法人は、職員個々のニーズに即した働き方を進めながらイキイキと働ける職場でありたいと思っておりますが、今回の認定区分では「ゴールド」と評価されました。(すべて該当=プラチナ、4つ以上該当=ゴールド、2つ以上該当=シルバー)

これを機に、女性にとっても男性にとっても、シニアにとっても働きやすい環境づくりを促進し、法人の発展を目指してまいります。



## 各事業報告

### 施設入所

#### 障害者支援施設あやめ寮

●定員 50 名 ●平均利用実績：48.6 名 ●利用人数：50 名

障害者支援施設あやめ寮利用者障害支援区分分布								
区分	6	5	4	3	2	1	重度	計
男性	16 名	13 名	3 名				9 名	32 名
女性	9 名	9 名					7 名	18 名
SS	1 名		1 名					2 名
合計	26 名	22 名	4 名				16 名	52 名

※生活介護通所利用者 23 名 (平成 30 年 3 月 31 日現在)

平均年齢 46.76 歳 平均支援区分 5.40 (平成 30 年 3 月 31 日現在)

あやめ寮開寮 30 周年記念日を迎え、全職員が改めて 30 年の歴史に触れ、これからさらに良い歴史を積み重ねて行こうと決意を新たにいたしましたところでございます。

全体的な近況としまして、職員体制や職員教育の分野では、県社協等の外部研修等へそれぞれの階層に求められる内容を精査して派遣するなどし、全職員に自己研鑽の機会を効果的に設定し、内部研修と外部研修を織り交ぜながら、日常の OJT でも丁寧に先輩職員が指導育成する体制を図り、日に日に新職員の皆さんも力をつけております。個別には、県の強度行動障害支援者養成研修への派遣に重点を置き、かなりの職員が受講終了となっております。また、7 月末日に「障害者虐待防止・権利擁護研修」を全職員対象として、日本障害者協議会理事 赤平守氏をお招きして実施致しました。今後も、支援の骨格となる研修機会を大切にしながら育成に繋げてまいります。

ご利用者の皆さんにつきましては、気候の変化や季節の変化に伴い少し落ち着かない時期もございましたが、大きな混乱もなく日中活動や余暇活動を通じて、充実した時を過ごされています。

ただ、楽しみとは裏腹ですが、高齢化に伴う体調管理・医務的支援という面では非常に支援量が増加している現状もございます。11 月に入り、一時 2 名のご利用者が入院されるなど、支援の現場において目を離せない状況がございまして、私たち支援員としましては夜勤等でも緊張感を持って業務に従事しております。残念なこととしまして、2 月 2 日に開寮からご利用されていたご利用者様が入院先の病院で逝去されました。本当に残念なことです。全体的に、ご利用者の皆様の高齢化に伴う体調管理・医務的支援という面では非常に支援量が増加している現状もございます。

30 周年を迎え、これまで以上に元気よく・全体的に盛り上げいき、日常の部分におきましても、引き続き「継続は力なり…」という言葉のもとで、切磋琢磨しながら皆で支援力を高める努力を継続してまいります。

## 共同生活援助 グループホームあやめ

グループホーム事業利用者障害支援区分分布								
区分	6	5	4	3	2	1	無	計
GH あやめ			1名	1名	1名		2名	5名
壺番館	5名	3名	2名					10名
式番館	4名	3名	3名					10名
3ホーム計	9名	6名	6名	1名	1名		2名	25名

平均年齢 51.1歳 平均支援区分 4.50 (平成30年3月31日現在)

**主な活動** 4月1日 あやめ壺番館5年目あやめ式番館3年目スタート。式番館として上高野大蔵地区自治会内、地域生活支援課長浅川が体育協会役員就任に伴い地区役員会等随時参加。毎月円藤内・上高野のクリーンを実施。上高野夏祭りの運営側としても参加。8月19日：あやめ寮盆踊りに参加。9月10日面会日にて個別支援計画説明、モニタリング説明、各ホームにて。9月24日上高野地区体育祭運営側として参加。本体・地域合同にて1泊旅行日帰り旅行実施。11月19日チャリフェスタ地域の方も招待へ。1月7日上高野地区歩け歩け大会、運営側としても含め初参加。

2月1日グループホームあやめ11年目スタート。2月下旬～3月上旬3者面談実施。3月11日上高野大蔵地区行政区総会へ参加。各ホームが地域での暮らしを深めていく中でどのような役割であり連携の深め方が有効か日々自問自答しながら過ごしている中でこのような形で地域での関わり連携を深めていく機会を得ることができ、ホームとしての存在意義を再確認することができました。

### 活動実績

GH あやめ・あやめ式番館大家：増田様稲葉様、GH あやめ、壺番館、式番館近所近隣、就労支援センター、他関係機関へのお中元、お歳暮の贈答の経過対応を図っております。地域歌謡発表会、フリーマーケットへの参加。規模やスケジュールにも即した参加経過をたどっております。散髪：壺番館式番館利用者：ヴァーサスさんシャガールさん利活用にて経過。消防訓練とともに、水害訓練として2次避難先への移動訓練をしています。

### 課題

冬季のインフルエンザ蔓延に伴い1月後半隔離対応の経過をたどっております。トイレ等自室隔離に際し、ポータブルトイレの設置をいたしました。数限りある中で融通つけあいつつ苦慮した次第です。

障害支援区分の更新を経て区分分布の重度化が進っております。体制配置充当の配慮もさることながら転倒怪我になることや疾患による入・通院も相次ぎより生活場面での留意が欠かせなくなってきました。我々事業運営課題とは別箇の内容ともなりますが、地区自治会役員の成り手不足やこども会の廃止など地域を取り巻く環境状況が様変わりしつつあります。その中で社会福祉法人や各事業所がどのような地域との関わりを踏んでいくべきが思案しているところです。

## 相談支援事業ひらの

### 主な活動

- ・対象地域（久喜市・幸手市・蓮田市・白岡市・宮代町・杉戸町）に住む障害のある方や、その家族のための相談窓口となる（平成30年度より久喜市は単独）
- ・毎月第4木曜日に行われる、埼玉葛北地区計画調整会議に参加。同じ地区の相談員との意見交換、勉強会等実施
- ・サービス等利用計画書の作成（106名）
- ・社会資源を活用するための支援
- ・権利擁護のための必要な支援
- ・福祉サービスの利用援助
- ・生活困窮者相談支援（彩の国あんしんセーフティネット）

### 【参加研修・会議】

- ・毎月第4木曜日午前 相談支援 計画調整会議 @鷺宮総合支所 ウェルス幸手
- ・3/27 H30年度相談支援報酬改定勉強会
- ・3/28 埼玉葛北地区自立支援協議会
- ・5/15、5/26、6/9 あんしんセーフティネット 担当相談員養成研修（CSW研修含む）
- ・8/1 あんしんセーフティネット ブロック会議 @久喜菖蒲文化会館  
@すこやかプラザ、埼玉県産連研修センター
- ・1月～2月 相談支援 現任研修

### 活動実績

- サービス等利用計画書作成件数
  - ・新規作成 59件
  - ・モニタリング 116件
- あんしんセーフティネット支援件数
  - ・1件（低所得家庭1件）

内容：大家族世帯の、世帯主の給料日まで（1週間）の間の食糧支援。

### 課題

- 新規利用者受け入れや、モニタリング回数を増やしていこうという流れを踏まえると、相談支援専門員を増員していきたい。また、次年度より委託相談支援も開始していくため、常勤で動ける相談員を確保していきたい。
- 平成30年度より、新しい報酬改定がなされた体系に推移していくことを踏まえ、加算も意識していきながら、運営していく。
- あんしんセーフティネットの受け入れについては、今年度に関して1件のみ実働（計画相談で支援に入っているケース）。であり、さらなるニーズに対応していきたい。

## 生活介護 障害者支援施設あやめ寮

●定員 75 名 ●平均利用実績：72.8 名 ●利用人数：75 名

●作業時間 月～金曜日 9：45～11：45・13：15～14：45 計 3 時間 30 分の作業活動

●作業場所 ブラウン棟・レッド棟・グリーン棟・寮内・野外活動等

●作業月報で下記のことを報告

・作業実績（月々の収支実績・重点利用者の支援課題と支援方法・班内の課題や問題点）

・個別支援計画に基づいた月間利用者別評価

●作業活動収支 ※（ ）は前年度数値

	年度支出合計	年度収入合計	年度収支実績
ふあくとりーG	¥93,721 (¥5,508)	¥380,810 (¥313,163)	¥287,089 (¥307,655)
ふぁーむG	¥62,251 (¥86,217)	¥168,835 (¥183,850)	¥106,584 (¥97,633)
りさいくるG	¥2,296 (¥29,250)	¥439,735 (¥394,790)	¥437,439 (¥365,540)
くりーんG	¥27,623 (¥864)	¥0 (¥0)	¥-27,623 (¥-864)
すまいる	¥24,704 (¥39,608)	¥0 (¥0)	¥-24,704 (¥-39,608)
年度合計	¥210,598 (¥161,447)	¥989,380 (¥891,803)	¥778,782 (¥730,356)

※ 昨年度比 ・ ・ ・ ・ 支出約 30%増、収入約 10%増、収支約 6%増

### 今年度の取り組みと今後の展望

昨年に引き続き、少しでも、やりがいを持って取り組んでいただけるように作業種を精査しながら進めてまいりました。各作業グループで活動（生産活動・創作活動・余暇活動）を運営する「ユニット方式」で支援対象者に空白ができないように支援を組み立てております。作業種・内容ともに充実を図るべく、既存の活動を軸に、さらに新規作業種にも目を向けながらアンテナを張っております。

引き続き、幸手市における障害福祉サービスのニーズに対して受皿が充実しているとは言えませんので、生活介護の支援ノウハウを蓄積し、さらに支援対象者が増加しても支えられるような環境や内容を構築していきたいと考えております。グループホームのように生活の場を地域へという制度がございますが、生活の場だけが地域へという考えではなく、日中活動の場を地域に求める「活動の場の地域移行」も視野に入れながらアンテナを張って業務遂行・アイディアの創出にも取り組んでいきたいものです。

ただ、ここにも高齢化による活動精査の波が押し寄せており、ご利用者様個々の状況に応じた活動提供も視野に、様々な可能性を検討してまいります。

## 個別活動報告

### りさいくるG

#### 【活動内容】

- ・作業工程： ①回収物選別②アルミ缶潰し（足、手）③プルトップ取り  
④ペットボトルリサイクル⑤ロードサポート⑥缶回収
- ・活動体系
  - ・AM：新作業棟にて缶潰し・缶の選別・ペットボトルキャップ取り・缶回収
  - ・PM：ロードサポート・ノックセット作業（シャーペン組み立て）・DVD作業  
もぎり作業

#### 課題

・今年度のまとめとして、缶潰し・回収などの従来の工程は、それぞれ配置された役割を利用者の方は皆、よく理解しており、職員の指示のもと、一生懸命行うことが出来ていたように感じる。また、今年度はノックセット作業という新しい作業に取り組むことになったが、利用者の方々も最初は戸惑っている様子があり、作業を行えない方も多くいたが、夏場以降、根気強く定着を図った事で、徐々に出来る利用者の方が増えていき、3分の2以上の利用者の方の定着を図ることが出来た。しかし、ノックセット作業が一時終了してしまった年度末の作業でなかなか定着した作業が提供できず、利用者の方々も、明日、何をやるのか見通しの立たない時期が続いてしまう事があった。30年度は、安定した作業の提供・定着を図り、利用者の方へ見通しの立った日課を提供していきたい。

### ふぁーむG

#### 【活動内容】

- 作った野菜  
ネギ、玉ねぎ、春菊、枝豆、トウモロコシ、ニンニク、カブ、ほうれん草、大根、白菜
- とよはる台サンハイツ花壇整備【月1回～2回】  
花壇の花植え、草取り、プランターの設置、水まき
- 晴天時(畑作業) ネギ作り、玉ねぎ作り、春菊作り、枝豆作り、トウモロコシ作り、  
にんにく種植え、カブの種まき、ほうれん草種まき、マルチ張り、カブの定植・追肥草  
取り、大根収、白菜収穫、散歩、
- 雨天時(雨天時) 作業棟掃除、DVD仕分け、もぎり、シャープペン組立て

#### 課題

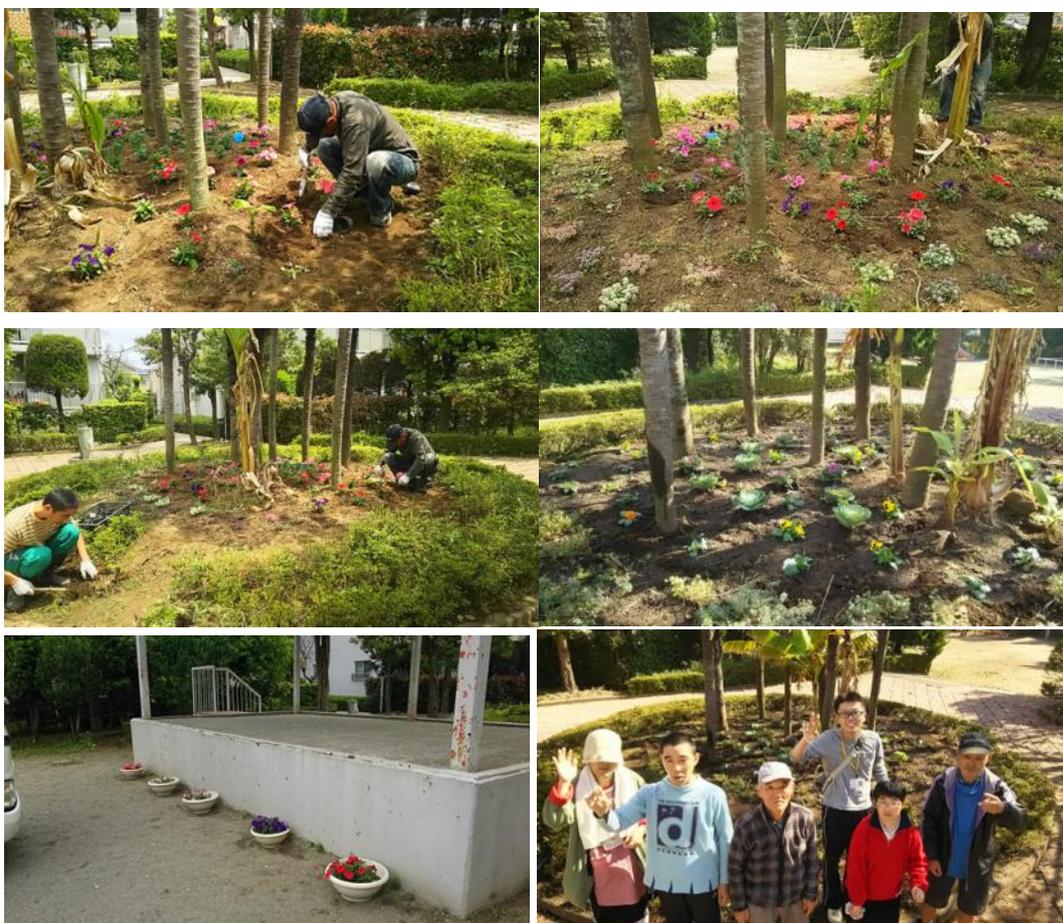
- 農園作業に取り組める職員が少なく、野菜作りが行える職員を増やしていく。
- 休日の水まき、野菜収穫に職員の配置を行いしっかりと野菜管理していく。
- 利用者さんへの負担も考慮し、量、質ともにバランスよく野菜作りを進めていく。

平成 29 年 公園等作業実施報告書（外部作業）

場所：春日部市とよはる台サンハイツ

月/日	参加人数	回数	作業内容
1 月	3 名	1 回	花壇の草取り。
2 月	3 名	1 回	花壇の草取り。
3 月	3 名	1 回	花壇の草取り。肥料まき。
4 月	3 名	1 回	花壇の草取り。肥料まき。
5 月	3 名	1 回	プランター回収。花壇の草取り。花の移植。肥料まき。
6 月	6 名	1 回	花壇にマリーゴールド納品。プランターにペチュニア納品。
7 月	3 名	1 回	花壇の草取り。プランター一部回収。
8 月	3 名	1 回	花壇草取り。
9 月	3 名	1 回	花壇草取り。
1 0 月	3 名	1 回	花壇草取り。肥料まき。
1 1 月	6 名	1 回	花壇整理。葉牡丹、パンジー納品。
1 2 月	5 名	1 回	花壇整理。プランター

平成 2 9 年 とよはる台サンハイツ作業の様子



## ふあくとりーG

【作業内容】 差し込み・もぎり・DVD・ウエス

TKプランニング・ハンダ・ノックセット

### 【活動実績】

今年度の受注作業はDVD仕分け、TK、ウエス、もぎり、ハンダ(一定期間)に加え、コネクトプランニングとの取引が始まり、切れ間なく作業を行なっています。

利用者関係では、皆さん比較的落ち着いて取り組むことができています。利用者さんの作業能力に応じて、他の作業班と協力し、午前はふあくとりー作業、午後は他の作業班で作業を行うなど、個別の支援を意識して取り組めたことは良かったと思います。

### 課題

- DVD仕入れ量にどうしてもムラが出てしまうことが多く、供給量が安定しなかった。
- DVD作業が無い時の代替になる作業の考案。
- 供給量が多いと、納品が間に合わなくなることがあり、納品の調整。

## すまいるG

### 【主な活動内容】

- すまいるグループではあやめ寮生活介護事業の一環として、リハビリ及び利用者の健康増進・趣味的活動を通じての情緒の安定を目的に各個人にあったプログラムを作成し、活動に取り組んできました。
- 活動時間：平日の午前中（9:30～11:30） 午後（13:15～14:30）

- 活動内容 全体活動…テレビ映像を利用した体操・歌謡曲を利用したリズム体操
  - ・ストレッチ運動 ・日光浴 ・ウォーキング ・音楽鑑賞
  - ・ボール遊び ・カラオケ ・バスドライブ個別活動…平行棒、歩行器、エクサペダル等専用器具を使ったリハビリ
  - ・腹筋その他の筋力トレーニング ・文字書

### 【活動実績】

- 所属利用者の健康増進および情緒面の安定を主な目的として、体操・ストレッチ・ウォーキングなど体を動かす活動。
- カラオケ大会やバスドライブ等、利用者の要望を取り入れた、レクリエーション的活動。

### 課題

- 所属利用者の障害特性により、活動に前向きになれない方への活動の提供方法の工夫。
- 活動内容がマンネリ化してしまい、新たな取り組みの検討が必要と思われる。

## クリーンG

### 【主な活動内容】

- AM 廊下・SS 居室・食堂の掃除機掛け、廊下・居室・食堂・脱衣場のモップ掛け、身障者トイレ掃除、玄関掃除、流し掃除、お茶準備、ゴミ集め、ゴミ捨て、手すり拭き、食堂椅子拭き、配膳用白衣戻し(月・水・金)、アカスリ仕分け、男女利用者さん洗濯物仕分け、シーツ・マット類畳み、洗濯物運び、ネットの洗濯物畳み、タオル畳み
- PM 男女利用者さん居室掃除機掛け、手すり拭き、窓・レール掃除、スリッパ拭き、男女利用者さん着替えまたは入浴準備、脱衣場準備、お茶の準備、体操、日光浴

### 【活動実績】

- ・リネン室の整理、備品の確認(必要に応じて備品係と連携)。
- ・PM にて余暇活動を実施。年三回 (パフェづくり・お菓子デコレーション・ケーキデコレーション)。

### 課題

- ・洗濯物の量が多い場合(特に冬季)の職員介入に関して。
- ・各作業の質の向上。
- ・自身の役割分担が早めに終了した利用者さんへの対応・作業提供。
- ・利用者さんの身体的変化への早めの対応。

## 虐待防止・権利擁護委員会

職員による虐待の抑止と権利擁護に関する意識を高めることを目的として、法人全体にセルフチェックリストを配布し、職員の支援方法や態度について振り返りを行った。また、対応が困難なケースなどについてアンケートを取り、事例検討会を実施することで対応方法の共有を図った。更に、虐待や権利擁護について学ぶ機会を設けるため、外部の講師を招いて施設内研修を実施した。また、毎月接遇目標や虐待防止指針を設定して朝礼で唱和することで、虐待や権利擁護に関する発信を行った。年間のスケジュールとセルフチェックリストの集計数は図の通り。

### 【主な取り組み】

- 委員会開催（隔月6回）。
- セルフチェック配布・集計（毎月）
- 苦情ポスト設置・集計（毎月）
- グレーゾーンアンケート配布・集計（7月）
- 接遇目標/虐待防止指針更新（3ヶ月毎/毎月）
- 虐待防止研修（7月）
- 事例検討会（6月・9月・2月）

### 【活動実績】

	苦情ポスト投函件数		セルフチェック回答数	
	本体	地域	本体	地域
5月	0	0	35/44	14/18
6月	0	1	33/43	13/18
7月	0	0	25/42	13/18
8月	0	1	26/42	12/18
9月	0	0	27/42	14/18
10月	0	0	27/42	14/17
11月	0	1	33/45	12/17
12月	0	0	33/45	12/17
1月	0	0	32/46	10/17
2月	0	0	28/46	9/17
3月	0	0	30/47	9/17
苦情ポスト 6月『かきあげうどん』 8月『ぼうりんぐ てるぬま こんびに』 11月『相川さんがいくらお金を持っているのか 聞くので嫌な気持ちになった』				

会議 隔月	事例検討 日程案	研修 講師	セルフチェック 苦情ポスト集計	接遇目標 3ヶ月ごと	指針設定 職員(敬称略)
4月	○ → 準備	特定非営利 活動法人 日本障害者 協議会  理事 赤平守 氏  (7月28日)	本体：岩崎 壹番館：横田 貳番館：瀬谷 増田ハイツ：頼谷  ※岩崎にてチェック リストを作成し、各 部署へ配布。まとめ たものを岩崎へ Gmail。	あいさつは相 手の目を見て 元気よく 相手の目 しっかりと 見て対応を	瀬谷
5月					岩崎
6月	○ 6月8日				松島
7月					石田
8月	○ → 準備				横田
9月	9月14日				菊地
10月	○				瀬谷
11月					岩崎
12月	○ → 準備				松島
1月					石田
2月	○ 2月8日				横田
3月					菊地

#### 課題

- 利用者による苦情ポストの投函が少なく、認知してもらう取り組みが必要。
- セルフチェックリストに自由記述の欄を設けるなど、内容の見直し。
- 法人全体の言葉遣い（呼称や丁寧語）の改善。
- 事例検討会や施設内研修の実施時間（半勤務職員の参加など）

## 高齢加齢配慮検討委員会

「障害者総合支援法施行3年後の見直し」についての中でも、高齢の障害者の円滑なサービスや障害者の高齢化に伴う心身機能の低下等への対応について触れられている直近の課題であり、支援の技法に留まらず、生活基盤を含めた検討機会の間としての機能の役割を担う。

【主な取り組み】 年会議回数：6回（5、7、9、11、1、3月）

- ・ 高齢知的障害者の施設における援助方法の理解促進
- ・ 事業所内の利用者の高齢化・加齢に伴う課題について検討し、今後の支援における基盤づくり

- ・ 介護技術啓発等の施設内研修の企画・運営

### ●取り巻く環境

- ・ 利用者の平均年齢が47.7歳（2018年3月31日現在）となり、ますます高齢化が進んでいる。

- ・ 常時車椅子を利用する方や、おむつを使用する利用者なども増えており、職員に求められる介護技術は一層高まっている。

- ・ 高齢化の着実な進行に対応するための、施設設備のバリアフリー化の促進が求められている。

### ●重点項目

- ・ 高齢化への対応・予防の検討（高齢という視点から利用者の現状を見直し、個々の課題を検討し対策を講じる）

- ・ 可能な限り自立した生活を送ることが出来るように自立支援を基本とし、利用者の有する能力を発揮出来るように支援をする。

- ・ 外部、内部研修・勉強会などで、職員の介護技術の向上を図る。

- ・ 利用者の高齢化に伴いADLの低下が懸念されるため、日常生活に適度な運動などを取り入れ身体機能の維持に努め、充実した生活が送れるように支援をする。

- ・ 作業がない日など、自由時間に楽しく元気に過ごしていただけるようなアクティビティの提供。

- ・ トイレ、お風呂場、住環境の整備。（高齢の方でも安全・安心に過ごせるように配慮・見直しをする）

- ・ 高齢という観点からの記録のとり方（身体機能、精神機能の著明な変化・外見上の老化度・社会適応・運動機能）

### 【活動実績】

- ・ 現在の利用者個々の課題（高齢・加齢の観点から）を検討し、対応・対策をこうじる。

- ・ 本棟、新棟など、住環境の見直し

- ・ 利用者の身体機能維持を目的に外部の方を招いて研修を企画・立案し、職員の知識・能力の啓発を促す。

## 課題

- ・高齡知的障害者の、急速な老化に対する予防。
- ・急速な老化を捉えるために、利用者個々の全体像を観察し把握。（高齡視点での観察力・記録の録り方など）
- ・高齡化の進行とともに、認知症に罹患している、又は、その疑いのある利用者への効果的な支援のありよう。
- ・高齡知的障害者のターミナルケア。
- ・高齡化の着実な進行に対応するための、施設設備のバリアフリー化の促進。
- ・職員の介護技術の向上。

## 防災委員会

近年危惧されている「大地震」への備えや、「水害」への対応検討を始め、火災予防、防犯対策など災害等のリスクに対して少しでも対応がスムーズにできるように日頃から検討し、除法を共有する活動を進めていくために、委員会として率先して減災に向けた取り組みを進める。

### 【主な取り組み】

- ・ 防災計画の策定
- ・ 年間計画に基づく防災活動
- ・ 自衛消防活動（避難消化訓練）の実施・検証
- ・ 消防署関係機関との調整共有
- ・ 減災に向けた取り組みの啓蒙
- ・ 緊急連絡先策定
- ・ 非常用備蓄の確認
- ・ 非常持ち出し袋の点検
- ・ B C P 事業継続計画の策定見直し主な活動実績
- ・ 水害、積雪対策等、施設で想定される災害について対応検討
- ・ 幸手市防災安全課との情報共有や福祉避難所についての検討

### 防災・防犯訓練

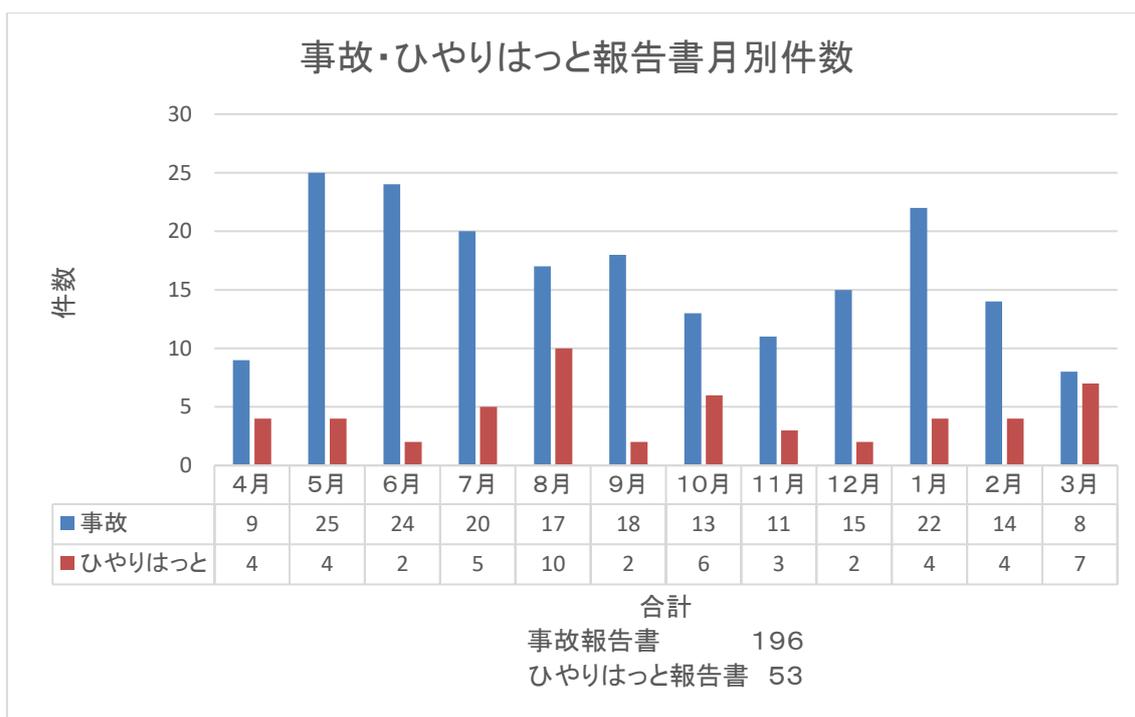
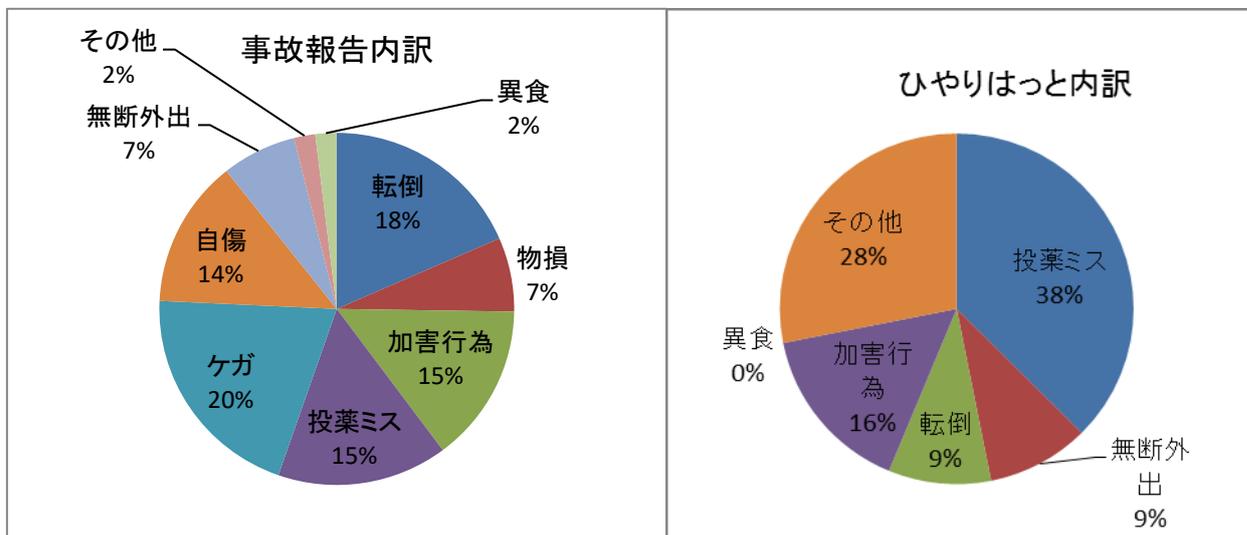
日時	内容	備考
5月26日(金)13:30～15:00	夜間職員三名体制の中、洗濯場リネン庫より出火。作業棟へ避難誘導。通報訓練。消化訓練。	消防署立ち合い。
7月12日(水)13:30～15:00	夜間職員三名体制の中、洗濯場リネン庫より出火。作業棟へ避難誘導。通報訓練。消化訓練。	消防署立ち合い。
3月26日(月)9:30～10:00	夜間職員二名体制の中、不審者対応訓練。不審者との対峙、通報訓練（模擬）。	

### 課題

- 避難誘導マニュアルの見直し
- 非常備蓄品の検討
- 災害対策用品の充足
- 避難訓練の内容の検討
- 災害時の電源、連絡手段等の確保

## 事故ひやり委員会

施設入所及び地域支援課の各月の事故発生件数とその内訳は、別紙の通り。



### 【施設入所】

・月平均で見ると、事故報告書は17件、ひやりはつと報告書は4件挙がっている。前年度と比べると、19件の減少。内訳をみると、転倒が今年度も多く見られた。次いで、加害行為、投薬ミスと続いている。ひやりはつと報告書の件数は、53件で、前年度より16件増となっている。

### 【地域支援課】

・事故報告書の件数は、昨年度と同数。ひやりはつと報告書は17件減。内訳で見ると、

事故報告書は、物損、投薬ミス・転倒（同率）と続く。ひやりはつと報告書は、投薬ミス、転倒、無断外出・加害行為（同率）と続く。

### 活動実績

- 委員会の月1回の開催。
- 月毎の事故・ひやりはつと報告書の検証と発信
- 月毎の事故・ひやりはつと報告書のまとめと周知

### 課題

- ひやりはつと報告に対する意識改革と定着。→ハインリッヒの法則の理解。
- 報告判断の共通認識（事故報告なのかひやりはつと報告なのか）と、事故発生時（ひやりとした場面時）、職員間での報告で終わらず報告書作成まで行なうという共通理解。
- 事故報告・ひやりはつと報告書を挙げた後の、PDCAサイクルの実践。

## 医務食事委員会

### 医務看護部門

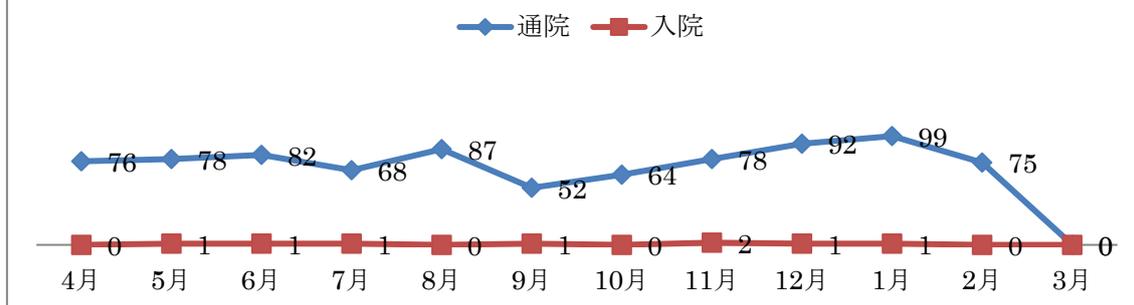
#### 《実績活動》

- ・医務会議の運営、会議内容の周知
- ・マニュアルの見直し
- ・各医師へ、利用者の報告書の作成・確認
- ・健康診断準備と運営
- ・歯科検診準備と運営（9月）
- ・既往歴の更新
- ・インフルエンザ予防接種準備と運営
- ・感染症予防対策・対応

#### 《通院分析》

- ・4月は、耳鼻科（花粉症）への通院。
- ・5月は、歯科通院（虫歯・歯肉炎・歯石取り）への通院。
- ・6月は、春の健康診断（女性利用者）の通院。
- ・7月は、歯科・眼科・耳鼻科への通院。
- ・8月は、歯科通院。
- ・9月は定期通院以外での件数少ない。
- ・10、11月は、風邪症状を訴える人が多かった。
- ・12月は、秋の健康診断（男性利用者）の通院。
- ・1月以降は、インフルエンザ流行での通院。

## H29年度 通院/入院件数一覧



### 平成 29 年度入院状況

入院者名	病院名	疾病内容
Aさん	東鷲宮	肺炎球菌による肺炎
Bさん	東鷲宮	尿路感染症
Cさん	東埼玉総合	てんかん発作
Dさん	東埼玉総合	直腸脱の手術
Eさん	東埼玉総合	蜂窩織炎
Cさん	東埼玉総合	てんかん発作
Fさん	秋谷	褥瘡
Gさん	秋谷	誤嚥性肺炎/インフルエンザB型

### 食事部門

#### 《実績活動》

- ・ 食事会議の運営
- ・ 会議内で、各利用者の体重・栄養状態・摂取状況などの確認
- ・ 会議内で、誕生日食、行事食などの確認
- ・ 会議内で、検食簿の確認
- ・ 検食簿の一覧作成と確認
- ・ 食堂の掲示物作成
- ・ 食堂座席の名札の定期的な張替え
- ・ 嗜好調査の配布
- ・ 金田亭様をお招きして、ラーメンをふるまっていた

## 生活支援委員会

余暇・散髪・自治会・苦情など、ご利用者の生活全般を支援することを目的として、年間を通して余暇活動の準備と自治会の運営、散髪の手配を実施。

### ・平成 29 年度 希望旅行実績

企画名	時期	参加利用者数	引率数
北海道新幹線で行く函館の旅	5/18-5/19	6名	2名
上越新幹線で行く新潟・越後湯沢の旅	①6/28-29	6名	3名
	②6/30-7/1	4名	2名
サンリオピューロランド	6/14-6/15	8名	4名
鬼怒川温泉旅行	7/3-7/4	14名	6名
東京観光及びプロ野球観戦	①6/2-3	6名	2名
	②7/10-11	5名	2名
近隣旅行	①6/26-27	8名	4名
	②6/7-6/8	2名	1名
東武動物公園日帰り旅行	10/30	4名	2名
百観音温泉日帰り旅行		4名	2名
個別対応		6名	

課題・希望外出・一昨年の振り返りから、高齢・体力低下を考慮して、個別要素の強い外出案を提示し、実施・運営出来た。幅広いニーズに応える内容となったと思われる。

### 利用者自治会・施設内余暇活動

月	自治会内容	施設内余暇	
4月	会議(職員のみ)、利用者役員顔合わせ		
5月	カラオケ大会	こいのぼり余暇	5/8 こいのぼり作り
6月	熱中症・食中毒に関して		
7月	短冊発表	七夕	7/7 花火大会
8月	不審者対応		
9月	カラオケ大会	ハロウィン準備	
10月	インフルエンザなどの感染症に関して	ハロウィン	10/27 仮装・買物
11月	ブラッシング指導	クリスマス準備	
12月	カラオケ大会	クリスマス	12/25 ツリー製作
1月	新年の抱負	新年会	インフルにて中止
2月	カラオケ大会	節分	2/2 豆まき
3月		開寮 30 周年記念 ひなまつり	3/1 スライドショー 3/5 ケーキづくり

※その他:施設生活で困っていること、利用者さんからの意見への返答、行事周知など。

地域交流会参加実績

5月	さわやか交流会（発表有）	ポピーカラオケクラブ様
6月	花のステージ	幸手市歌謡連盟様
8月	こころのうた・愛の歌	麻衣の音楽教室様
9月	巡礼桜（発表有）	沢明日香様
10月	夢舞台	さくら歌謡クラブ様

平成 29 年度各理容店別利用延べ人数

（）前年実績 数値は人数

月	鈴木理容店	スノップ	落合理容店	合計
4	14	5	8	27 (23)
5	7	7	14	28 (30)
6	12	7	7	26 (21)
7	14	5	8	27 (30)
8	12	3	7	22 (19)
9	8	5	12	25 (28)
10	12	5	10	27 (26)
11	6	6	13	25 (28)
12	12	3	8	23 (27)
1	8	5	7	28 (28)
2	10	5	7	22 (10)
3	8	6	16	30 (31)
合計	123 (124)	62 (48)	125 (129)	310 (301)

【課題】

- 各理容店の希望人数に偏りがあるため、振り分けが必要。
- 自治会は職員会議と同日時に実施しているため、開催日時の見直しが必要（土日祝の10時等）。
- 新年会が2年連続で感染症拡大により中止となったため、開催場所や日時の見直しが必要。
- 苦情の取り扱いについて、虐待ポストへの投函と同義とし、虐待防止委員会に繋げていく

## 施設行事委員会

あやめ寮の2大行事に関しまして、平成29年8月19日(土)に盆踊り大会が開催され、平成29年11月19日(日)にあやめチャリフェスタが開催されました。両イベント共にたくさんの来場者がお越しになり、地域の方々をはじめ、近隣の障害福祉サービス事業所からも多く関係者の方がお見えになりました。

盆踊り大会に関しましては、恒例の灼熱の中「やぐら建てや提灯付け」の会場設営におきまして、当日以外のボランティアとして昨年に引き続き野川様(春日部在住)と、十文字女子学園大学の学生ボランティアにご協力いただくなどしまして、しっかりと会場設営が出来上がり、当日は例年通り開催が危ぶまれる天気でしたが、雷空もあやめ寮の周りだけは近づかず、盛大に開催することができました。

あやめチャリフェスタに関しましては、大変多くの障害福祉サービス事業所にご参加いただき、昨年同様に当法人を含め7法人(社会福祉法人杉風会 庄内・社会福祉法人啓和会 久喜けいわ・社会福祉法人平徳会 こしがや希望の里・社会福祉法人聖徳会 行田園・特定非営利活動法人 あかり あかりワークス国納・特定非営利活動法人 らら笑会)が、販売や施設対抗のど自慢大会にご参加いただきました。今年度は比較的安定した天候の中、内外ともに盛り上げていただき、ホールでの芸能イベントも力強い和太鼓演奏や、優雅なフラダンス、パワフルな阿波踊り、大盛り上がりの施設対抗のど自慢大会や、あやめ寮の出し物も、新人職員とご利用者様のコラボや、例年以上の出来栄のAYAME11の素敵なダンスや一丸となったステージで多くの方々から「感動した」「すごく良かった」とお褒めの言葉を頂きました。

また、両イベント共に今年度も、ボランティア・インターンシップなどを通じ、多くの皆様に支えて頂いた印象が大きく残っております。

### ●活動実績

#### ●H29年度お花見

日時：平成29年4月3日(月) 11:30~13:00

旧消防署を使用したお花見実施。新人職員紹介。関係者を招待し交流を兼ねたイベントとして実施。

#### 【事前準備】

※駐車場の確保、看板作り、30周年に向けた企画【30人文字】の下準備、食材検討、必要材料の調達、食器類の調達

#### ●盆踊り

平成29年8月19日(土) 16:30~19:30

踊り、模擬店(焼きそば・焼き鳥・たこ焼き・フランク・唐揚げポテト・かき氷・ジュース・ポップコーン)、

子供向けコーナー、打ち上げ・仕掛け花火 の実施

### 【事前準備】

※櫓建て・提灯付け・テント張り・ポスター・案内状作成と送付、駐車場の確保、ボランティア協力依頼・調整、看板作り、模擬店の食材検討・調達、必要機材・材料の調達、模擬店用食器類の調達、駐車場整備

焼きそば 600 食、他 500 食用意。

・演者ボランティアとして幸手市和太鼓保存会様、沢明日香様、大城麻衣様、幸手市商工会フラダンス様、幸手さくら連様

・ボランティア 20 名

内定者 1 名、個人ボラ 6 名、学生ボラ 11 名(埼玉保育教育学院、大阪人間科学大学、埼玉福祉専門学校、十文字女子学園大学) 行田園様 2 名

【盆踊り 収支報告】 ●収入 お祝い金・当日チケット売上げ ¥424, 400

●支出 準備費用 ¥247, 375

### ●あやめチャリフェスタ【行事委員は屋外イベント運営】

日時 平成 29 年 11 月 19 日(日)11:00~16:00

場所 幸手北公民館駐車場

芋煮・焼きそばの振舞い、バザー品販売、あやめ寮及び葛西さんの野菜販売、近隣福祉施設の物品販売。

他施設交流として、久喜けいわ様、あかりワークス様、庄内、行田園、こしがや希望の里、サークルのぞみ様の招待。

・ボランティア 18 名

内定者 1 名 個人ボラ 5 名、学生ボラ 6 名(日本社会福祉事業大学、埼玉保育教育学院、東京国際大学、)

### 【事前準備】

※餅つき、幸手市広報依頼・駐車場の確保、ボランティア協力依頼・調整、看板作り、食材検討、必要機材・材料の調達、模擬店用食器類の調達・バザー品の協力依頼、着ぐるみの借用依頼、駐車場係りの整備

【チャリフェスタ 収支報告】 ●収入 お祝い金・当日チケット売上げ ¥560, 399

●支出 準備費用 ¥125, 564

### 課題

#### ●盆踊り

ボランティアの役割・指示、模擬店コーナーの配置及び列の管理、模擬店(ポップコーン)の下準備、インカムの使用で委員メンバーの連携※チャリフェスタの成功を活かして使用を検討する。

#### ●チャリフェスタ

さっちゃんの着ぐるみの活用方法。会場片付けの段取り※17時閉門の為

## あやめ協力会

29 年度はあやめ協力会は地域交流・地域参加をスローガンに活動に取り組んでまいりました。

内容としましては 5 月 21 日（日）にあやめ協力会員への平成 28 年度活動報告と 29 年度の活動計画の伺い、また当法人への叱咤・激励を目的に、「第 13 回あやめ協力会総会」を実施しました。 ※総会では県会議員・市長にもご参加いただき、活発な意見交換の場となりました。会員募集の用紙を活用し、新会員募集に努めました。

この協力会総会で承認・依頼を受け、1 1 月 1 9 日（日）に「第 9 回あやめ寮チャリフェスタ」を開催いたしました。今年度も地域活動団体※和太鼓保存会 フラダンスチーム 阿波踊り団体等の発表、他施設とのカラオケ歌合戦を行い、また、屋外ではバザーや焼きそば・芋煮、お餅の販売も行い、大変盛り上げて頂いたと共に、各利用者のいきいきした表情がとても印象的でした。

今後も地域へ当法人をアピールして、あやめ協力会の活動がより良いものになるようになればと考えております。

### 主な活動

- 第 13 回あやめ協力会総会の実施。 ●第 9 回あやめチャリフェスタの開催。
- あやめ協力会会員の募集活動。 ●会報あやめの定期送付。

### 課題

- 第 13 回あやめ協力会総会・・・総会の参加者を更に募ると共に会長を選出および新たな体制作りを考慮していく。
- 第 9 回あやめ寮チャリフェスタ・・・更なる地域交流を目指し、催し物、チャリティーバザーの内容の検討が必要と思われる。
- あやめ協力会員の募集活動・・・会員の減少が否めない状態なので、会員の特典検討をする。

## 実習生・ボランティア

● 29年度の受け入れ（オリエンテーション・実習・評価）

● 30年度の受け入れ調整

● 責任実習を実施

● 地域での実習実施

《29年度受け入れ》

・詳細は活動実績を参照。

・オリエンテーションは複数の学校を同時に実施。年7回。

《30年度受け入れ調整》

・指導できる職員が限られているため、同期間に2名までの受け入れ・調整。

※5月のみ学校側の都合上、宿泊2名・通い2名の受け入れをしている。

・現時点でかなり空きがあるため、インターンなどで随時、受け入れを行う。

## 活動実績

埼玉保育教育学園	8名	越谷保育専門学校	2名
貞静学院短期大学	2名	東京教育専門学校	4名
東京福祉大学	2名	草苑保育専門学校	2名
武蔵野短期大学	2名	帝京平成大学	2名
東京未来大学	4名		

※年間 9校 28名 延べ167日間

・補足事項

オリエンテーション資料・マニュアルの見直し。

事前説明会については、電話にて確認をしているが学校側の都合により実施は難しい。

実習生を採用に繋がられるようにしていく。

## **短期・日中一時**

● 普段の短期入所・日中一時の受け入れに関しては、変更なく行っております。今年度も、新規利用される方が複数名おりました。また、新規利用の方の利用希望では、施設入所を考えており、施設に慣れていただくことを目的に利用されている方が多いです。そして、両親が高齢となり自宅での支援が困難になってきて、施設利用を始めた方もおりました。

● 昨年同様、支援センター以外にも、地域の相談専門員からも見学や受け入れの希望連絡が来ている。また、適時情報交換などを行ない、利用者の現状や状態の把握に努めている。

● 日中一時・短期利用を担当されている相談専門員の方からも聞き取りも以前より増えてきており、実際にモニタリング・会議にも参加している。

● 短期利用の方の個別支援計画書を作成している。

● 今年度は、緊急利用（利用者の状態悪化・家族の手術）の希望が多かった。

### **主な活動実績**

● 日中一時・短期入所利用者の受け入れ調整

● 利用希望者の相談・見学・契約対応

● 個別支援計画書の作成

● 利用時の課題解決への取り組み

### **課題**

● 新規の利用希望者の大半の方が重度・多動なケースが多く、受け入れ時の過ごす場所・対応方法が課題となっている。

● 今年度の収入のまとめ・利用人数のまとめについては別紙を参照。

平成 29 年度 日中一時 短期入所 収入・事業報告 (日中一時)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	半期計
利用人数	18	16	18	17	19	19	107
利用回数(回)	44	49	46	52	48	61	300
利用者負担金計(円)	43,449	39,452	36,775	39,926	32,596	43,642	235,820
市町村負担額(円)	160,451	158,198	142,225	163,524	131,724	179,118	935,240
合計	203,900	197,650	179,000	203,450	164,320	222,760	1,171,080
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	半期計
利用人数	19	18	16	12	17	19	101
利用回数(回)	58	46	52	17	54	60	287
利用者負担金計(円)	41,867	36,974	42,192	15,923	44,579	49,104	230,639
市町村負担額(円)	165,183	150,416	175,208	64,617	183,251	195,366	934,041
合計	207,050	187,390	217,400	80,540	227,830	244,470	1,164,680
<b>合計</b>						<b>¥2,335,760</b>	

昨年度比 ¥2,819,443 (82.8%)

平成 29 年度 日中一時 短期入所 収入・事業報告 (短期)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	半期計
利用人数	14	9	9	10	12	9	63
利用日数(回)	42	25	32	40	60	56	255
利用者負担金計(円)	27,940	24,150	30,340	36,500	63,350	65,280	247,560
市町村負担額(円)	626,837	668,678	721,502	772,129	670,765	701,906	4,161,817
合計	654,777	692,828	751,842	808,629	734,115	767,186	4,409,377
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	半期計
利用人数	10	6	5	2	5	10	38
利用日数(回)	36	22	18	7	17	32	132
利用者負担金計(円)	70,841	57,540	40,690	2,380	18,650	32,212	222,313
市町村負担額(円)	745,292	629,008	662,002	515,392	605,554	765,082	3,922,330
合計	816,133	686,548	702,692	517,772	624,204	797,294	4,144,643
<b>合計</b>						<b>¥8,554,020</b>	

昨年度比 ¥8,594,703 (99.5%)

## 保護者会担当

- 毎月の行事や誕生日会の写真を掲載したあやめだよりを毎月作成。
- 毎月の面会日にて、面会家族への質疑応答・利用者の近況報告を実施。
- 盆踊り・チャリフェスタ・三者面談の時期は、面会日を行なわないが、送付物は作成し家族へ郵送。
- 前年度より、毎月の面会者数が増えている。保護者会からの働きかけ、職員から家族への連絡があったことにより、増えたものと思われる。

## 平成 29 年度面会日来寮家族数

4 月	25 名	10 月	26 名
5 月	21 名保護者会総会/協力会	11 月	チャリフェスタ
6 月	24 名保護者費集金	12 月	25 名
7 月	25 名	1 月	21 名 保護者新年会
8 月	盆踊り大会	2 月	20 名
9 月	35 名 モニタリング	3 月	三者面談

## 活動実績

- 毎月の面会日対応
- あやめだよりの作成
- 毎月の送付物準備
- 保護者会の処務係の方と、家族の連絡先確認を行なう

## 備品係

平成 29 年度の備品係事業活動としまして、施設運営及び利用者支援に必要な備品の購入・管理を主な活動として取り組んでまいりました。

〈活動内容〉

- 各備品のチェック（主に洗剤・消毒類、トイレトペーパーやティッシュボックス、ほうき・ビニール等の掃除用品）
- 月に一回の購入品のチェック
  - ・月別と累計での費用が一目で分かるように法人のパソコン内に購入リストを作成。
- 全体周知及び朝礼等で備品の節約※洗剤の投入量のアドバイスやトイレトペーパー等の数量の報告。

【活動実績】

- 各備品の管理・チェック及び不足分の補充（終日）
- 購入品のチェック・購入リストを作成。（月に 1 回）
- 全体周知及び朝礼等で備品の節約※洗剤の投入量のアドバイスやトイレトペーパー等の数量の報告。（随時）

平成 29 年度 備品収支報告 ( ) は前年数値

月	金額	月	金額
4 月	¥63,924 (51,569)	10 月	¥114,833 (95,047)
5 月	¥105,564 (170,648)	11 月	¥67,271 (57,849)
6 月	¥69,780 (61,971)	12 月	¥105,025 (91,193)
7 月	¥88,461 (60,451)	1 月	¥73,583 (41,384)
8 月	¥58,180 (79,499)	2 月	¥75,425 (53,291)
9 月	¥55,239 (27,905)	3 月	¥60,106 (0)
上半期累計	¥441,148 (452,043)	下半期累計	¥496,243 (338,764)
年間累計		¥937,391 (790,807)	

※一昨年度年間支出¥913,530→昨年度年間支出¥790,807→今年度¥937,391

昨年度比約 17%経費削減

課題

- 利用者用洗剤・消毒液、ゴミ用のビニール袋の使用量がかさみ、費用が目立っているため、来年度は各職員が節約の意識を更に高める必要がある。
- 安くて品質の良い購入先を探し、経費節減を図る。
- 商品の補充が遅くなり、利用者に迷惑をかけないように心がける。

## 車輛整備

平成 29 年度の車輛係の事業活動としまして、まず、職員の車輛の設備点検・清掃・安全の意識を高めるための活動に取り組みました。

〈活動内容〉

- 各車輛に車輛責任者を設置し、月に 1 回の車輛の点検・清掃の実施。  
※利用者にきれいな車輛での送迎提供をこころがけました。
- 月に一回の運行簿のチェック  
※県からの指導もあり、新しい運行簿を作成し（※車両責任者の確認印の欄を追加）、責任者に担当車両に対する意識の向上を図りました。
- 季節による車輛装備品のチェック  
※冬季にスタットレスタイヤの着用、インフルエンザ感染症予防のための医療品
- 各車輛の車検日の一覧表を作成。
- 各車輛の駐車場所の設定。

## 課題

- 残念ながら今年度も車輛に関する事故の発生がしばしば見受けられました。今後、事故軽減・車輛に関する基礎知識の向上を図る為、運転・車輛に関する研修の実施等は必要と思われます。
- オイル交換の時期が過ぎてしまうことがしばしば見受けられたので、時期の目安が明確になるよう工夫して、交換時期が過ぎてしまわないようにする。

## 美化

- 施設内・外の清掃、整理整頓、修繕等を実施・定期的な除草剤散布の実施。
- ・毛虫の殺虫剤散布の実施・施設内害虫駆除の実施（年2回：本棟・新棟共）
- ・施設回り植木の剪定の実施・施設内年末大掃除・乾燥機の煙突の定期的な掃除
- ・粗大ゴミ等のゴミ出し対応・壁紙、水漏れ等、対応可能な範囲での修繕
- ・業者対応が必要な修繕の連絡、現場との調整

### 【活動実績】

- 4月除草剤散布 ●5月A棟B棟居室・共有部分壁紙修繕
- 5月24日 新棟害虫駆除 6月7日 本棟害虫駆除
- 6月3日 本棟乾燥機煙突清掃。6月中旬除草剤散布
- 7月2日：害虫駆除（水回り）、8日：除草剤散布 9日：玄関前花壇整理
- 8月 除草剤散布 ●9月 施設周り廃棄物処理
- 9月 A棟洗濯場蜂の巣駆除 ●11月 スプリンクラー清掃
- 12月 居室カーテン洗濯、カーテン補修。 ●12月 年末大掃除
- 3月 本棟乾燥機煙突清掃。除草剤散布。

### 【主な活動】

- 害虫駆除 ●除草剤散布 ●壁紙修理 ●倉庫整理
- B棟トイレセンサー修理（旭クリエイト）
- りさいくる作業棟、エアコン室外機修理（水谷工務店）

## 課題

- 壁紙を修理しても、すぐに剥がされてしまい、修理してもあまり効果が見られない。また、長年の汚れが全体的に目立ってきている。
- 害虫駆除は今回業者に依頼せず、支援員にて行っている。
- 厨房のねずみ問題があり、6月に穴を鉄板で塞いだが、7月、8月にも厨房から「ねずみかた」と報告あり。ねずみ捕りシートを現在配置して対応している。
- カーテンライナー（カーテンフックに取り付ける部品）が損傷したり、劣化して取れてしまっていることが多く見られている。
- 年末大掃除は人数確保が難しく、1月の下旬までかかっている。

## 広報委員会

● 広報誌あやめの作成・発行・ホームページの管理・ブログの更新(適宜)

7月発行…会議実施月(4月・5月・6月※7月は広報紙郵送準備)※例年6月の発行だが、今年度は決算報告の関係で7月発行となった。→7月発行分記事内容：設立30周年プロジェクトに関して、花見、盆踊り大会の告知、大澤施設長からの挨拶、平成28年度決算報告、杉山弘様から植木剪定のボランティアに携わって、新任職員紹介、入社式・辞令式、歓迎会、新任職員研修、希望旅行、防災訓練、健康診断、こいのぼり余暇活動、協力会・寄付金、頂き物

10月発行…会議実施(8月・9月※10月は広報紙郵送準備)→10月発行分記事内容：盆踊り大会、プア・レフアナニ様から盆踊り大会に参加して、あやめチャリフェスタの告知、虐待防止研修、他施設との交流、採用プロジェクトに関して、歯科検診、協力会・寄付金、頂き物、盆踊り大会の御祝金・ボランティア

2月発行…会議実施(12月・1月※2月は広報紙郵送準備)→2月発行分記事内容：クリスマス会、年末年始の様子、理事長・施設長からの新年の挨拶、あやめチャリフェスタ、職員研修旅行、利用者部会虐待防止研修、歩け歩け会、協力会・寄付金、頂き物、あやめチャリフェスタの御祝金・ボランティア

## ホームページ

ホームページに関しては、昨年度同様に、情報発信として「支援員ブログ」を中心に、できる限り身近な情報を更新し、事業所の取り組みを紹介している。

現在では、リクルーターへの広報ツールとしての機能がメインとなりつつあるが、他法人からも注視していただいております、相乗効果として取り組みを公開することで、振り返りや確認にも活用できています。以降に、アクセス数の数値を示すデータを添付しているが、非常にアクセス数が向上してきており、今後も親しみのもてる情報発信を心掛けていきたい。

## ホームページアクセスランキング（上位 10 件）

### ページアクセス詳細

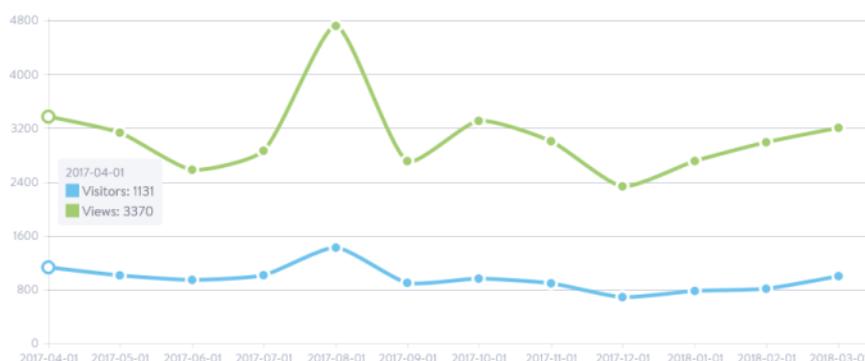
ホームページ内における内容	訪問者数	ページビュー
社会福祉法人 平野の里 障害者支援施設 あやめ寮/ あやめ日記（支援員ブログ）	3455	7366
あやめ日記（支援員ブログ） mobile	2672	10049
あやめ日記（支援員ブログ）	2105	2134
社会福祉法人 平野の里 障害者支援施設 あやめ寮 mobile	790	813
あやめ寮について	204	1365
埼玉県 強度行動障害支援者養成研修【基礎研修】の研修 受講/2016/01/26/埼玉県-強度行動障害支援者養成研修-基 礎研修-の研修受講	148	181
アクセス	100	976
採用情報	88	866
スタッフ紹介	71	466
スタッフの声	52	374

## 平成 29 年度アクセス状況

訪問者数 11,562 (10,261) 前年比 112.6%

ページビュー 36,921 (31,027) 前年比 118.9%

モバイルビュー 54% (45%) 前年比 120%



## 職場研修

職員体制や職員教育の分野では、5名の新卒職員の入職に伴い、施設内研修の運営のしやすさという面で、施設内にて新任職員研修を定期的に行き、企画する側も大変勉強になった一年となりました。また、県社協等の外部研修等へそれぞれの階層に求められる内容を精査して派遣するなどし、全職員に自己研鑽の機会を効果的に設定し、内部研修と外部研修を織り交ぜながら、日常のOJTでも丁寧に先輩職員が指導育成する体制を図り、日に日に新職員の皆さんも力をつけております。個別には、県の強度行動障害支援者養成研修への派遣に重点を置き、かなりの職員が受講終了となっております。また、7月末日に「障害者虐待防止・権利擁護研修」を全職員対象として、日本障害者協議会理事 赤平守氏をお招きして実施致しました。今後も、支援の骨格となる研修機会を大切にしながら育成に繋げてまいります。

これらに加えて、職員研修旅行ということで他法人の見学・研修会参加を兼ねて、職員の親睦を意図した旅行を今年度に関しては2グループという大所帯で開催し、それぞれの班で、親睦を深めつつ、他法人の取組みを学んでまいりました。

現在はこのような形で研修会を企画実施しておりますが、昨年度に引き続きの課題として、今後の計画や検討事項ということで中堅職員層へのアプローチ、底上げにもう少しケアしていくことでさらに支援力が高まってくるのではないかと考えております。どうしても、「知っている」「できる」と見てしまう中堅層ですが、切磋琢磨する機会を共有できればひと味違うのではと期待しております。

また、各所で「連携」「繋がり」というキーワードをよく耳にしますが、私ども障害福祉サービス事業所においても、このキーワードが非常によく使われております。他法人との合同施設内研修会などを実践されている法人も埼玉県内にはいくつか事例がございます。この形態にも注目しており、埼玉県発達障害福祉協会の部会や委員会などで知り合った他法人とも、お祭りへの行き来や、庄内様のような施設内研修への参加など様々な交流を深めながらお付き合いさせていただいている中で、法人間合同の施設内研修会を模索しながら引き続き検討を進めておるところです。他施設の交流による刺激は、お互い大きな作用になると考え、双方にメリットがでるような交換研修なども実現すると、さらに法人内育成プログラムが骨太プログラムとなり、職員の成長や育成につながるのではないかと期待しております。

平成 29 年度 主な研修参加実績

研修名	時期	主催	参加者
新任職員研修①	4 月	あやめ寮	新入職員
新任職員研修②			
新任職員研修③			
新規採用福祉職員スタートアップ研修		埼玉県社会福祉協議会	
平成 29 年度虐待防止研修会	5 月	埼玉県社会福祉協議会	岩崎
あんしんセーフティネット事業担当相談員養成		埼玉県社会福祉協議会	田村
中堅職員キャリアパス研修		埼玉県社会福祉協議会	石田
発障協青年部会		埼玉県社会福祉協議会	桑原
新任研修④		あやめ寮	新任職員
あんしんセーフティセット担当相談員養成	6 月	埼玉県社会福祉協議会	田村
チームリーダーキャリアパス研修		埼玉県社会福祉協議会	田村 岩崎
新任職員研修		埼玉県発達障害福祉協会	伊藤 谷元 山口 菊地 本澤 内藤
グループホーム学会全国大会	7 月	グループホーム学会	浅川
プチパワーアップセミナー埼玉		プチパワーアップセミナー埼玉 実行委員会	杉村・中島
虐待防止権利擁護研修		あやめ寮	全職員
初任者キャリアパス研修		埼玉県社会福祉協議会	谷元 山口 菊地 本澤 内藤
新任職員フォローアップ研修		あやめ寮	日俣・佐藤・照沼・岩本
新卒採用セミナー～新卒採用の現状と予測～採用・定着勉強会～		株式会社リクルートキャリア	杉村
青年部会県外宿泊研修（山梨）		埼玉県発達障害福祉協会	桑原
強度行動障害支援者養成研修基礎	8 月	埼玉県	石田 伊藤 照沼 井筒 横田 日俣
埼玉葛北 行動障害研修		埼玉葛北自立支援協議会	山中 佐伯 柿沼麻 中島 浅川
埼玉葛北 ストレングス研修	9 月	埼玉葛北自立支援協議会	中島
社福清心会 さやかグループ 講演		社会福祉法人清心会	杉村 小松
地域交流会（白岡中央総合病院）		白岡中央総合病院	桑原 松島
強度行動障害支援者養成研修基礎		埼玉県	石田 伊藤 照沼 井筒 横田 日俣

強度行動障害支援者養成研修(実践)	10月	埼玉県	山中 佐伯 日俣 松島
利用者部会 (虐待防止利用者向研修会)		埼玉県発達障害福祉協会	杉村 小松
ネット・SNSの利便性と怖さを知る		埼玉県社会福祉協議会	杉村
介護記録の書き方研修	11月	埼玉県社会福祉協議会	岩崎
アンガーマネジメント研修		埼玉県社会福祉協議会	濱野
発障協中堅職員研修		埼玉県発達障害福祉協会	石田 柿沼麻
第1回介護事業経営者セミナー		埼玉県福祉人材センター	杉村
サービス管理責任者研修 生活介護		埼玉県	杉村 (スタッフ)
青年部会		埼玉県発達障害福祉協会	桑原
利用者部会 虐待防止権利擁護	12月	埼玉県発達障害福祉協会	佐伯 日俣 小松 杉村
サービス管理責任者研修 生活介護		埼玉県	杉村 (スタッフ)
埼玉県虐待防止研修会共通講義		埼玉県	日俣 照沼
ホーム世話人研修会		埼玉県発達障害福祉協会	浅川 柿沼麻 関根誠
第2回介護事業経営者セミナー	1月	埼玉県福祉人材センター	杉村
サービス管理責任者研修 生活介護		埼玉県	杉村 (スタッフ)
発障協ホーム職員研修会		埼玉県発達障害福祉協会	浅川 鶴野 初見
新任研修		あやめ寮	森 渡辺
新任フォローアップ		あやめ寮	谷元 山口 菊地 本澤 内藤
広報に関する研修		埼玉県社会福祉協議会	横田
相談支援専門員現任研修		埼玉県	浅川
施設長幹部職員研修		埼玉県発達障害福祉協会	杉村 小松
地域交流会 (白岡中央総合病院)		白岡中央総合病院	杉村・小松
社協新任フォローアップ研修		埼玉県社会福祉協議会	日俣
相談支援専門員現任研修	2月	埼玉県	浅川
サービス管理責任者フォローアップ研修		埼玉県発達障害福祉協会	杉村
青年部会		埼玉県発達障害福祉協会	桑原
ホーム世話人研修		埼玉県発達障害福祉協会	横田・大久保・浅川
第3回介護事業経営者セミナー		埼玉県福祉人材センター	杉村
ストレングス研修		埼玉葛北自立支援協議会	横田 浅川 中島
第4回介護事業経営者セミナー	3月	埼玉県福祉人材センター	杉村
人事考課運用研修		あやめ寮	佐伯 松島 横田 瀬谷
新任フォローアップ研修		あやめ寮	谷元 山口 菊地 本澤 内藤

平成 29 年度職員研修旅行(宿泊研修)

研修種別	時期	研修先
職員研修旅行①	11 月	社会福祉法人合掌苑（東京都町田市） 採用・従業員満足度意識の高さ、高齢者介護分野 で先駆的活躍をされている法人の見学・横浜旅行 参加者 14 名
職員研修旅行②	1 月	社会福祉法人戸田わかくさ会 GH・生活介護等の施設見学・熱海方面旅行 参加者 14 名

関係機関・団体出向者

関係機関・部会等	機関名	主な参加者
青年部会	埼玉県社会福祉法人経営者協議会	柿沼隆
埼玉県発達障害福祉協会		大澤・杉村
施設生活支援部会	埼玉県発達障害福祉協会	杉村
地域生活支援部会		浅川
相談支援部会		濱村
青年部会		小松
利用者支援委員会		杉村
サービス管理責任者フォローアップ研修検討委員会		杉村
関東地区知的障害関係職員研究大会埼玉大会実行委員会		杉村・小松
埼玉葛北自立支援協議会 サビ管連絡会		埼玉葛北自立支援協議会
埼玉葛北ケアマネ部会	埼玉葛北自立支援協議会	濱村・桑原・濱野・ 松島

## 採用活動

昨年度に引き続き、平野の里として「リクナビ」を活用した新卒採用活動を継続的に取り組んでおり、リクナビシステムのなかで、「インターンシップ」「会社説明会」「体験実習」「面接」というプロセスを活用しながら、学生に対して職場の魅力や仕事内容を紹介している。今年度は、リクナビだけではなく埼玉県社会福祉協議会の合同就職説明会への参加（さいたま市・久喜市）と2回、職員出身校である十文字学園女子大学様の学内説明会への参加、埼玉純真女子短期大学様のマッチングフェアと、昨年度以上に活動の幅が広がり、様々な活動を経て大きな経験に繋がる一年となった。

併せて、今年度入職した新卒職員5名と共に、OG訪問と題して、採用担当職員と共に母校への訪問を行い、学校訪問の重要性、更なるパイプ作りを意識して活動を行った。

今年度に関しては、昨年度よりも内定承諾者数が減少し、数値上では厳しい年となったが、これからさらに厳しい情勢を迎える中で、ある程度我慢の時期と捉え、法人の魅力づくり・選ばれる法人づくりを併せながら、採用活動を行っていきたいと考えている。

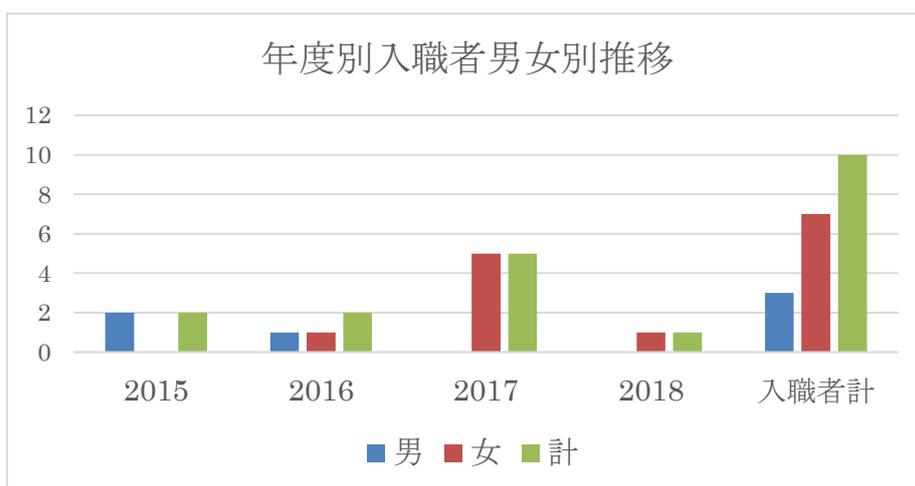
以降に示すデータは、会社説明会を実施した際に毎回協力いただいているアンケート結果を集計したものである。サンプル数は決して多いとは言えず、また、昨年度の数値も含めながら傾向を紹介することとしたが、学生には説明会や職場体験を通じて、福祉現場の魅力伝える良い機会となっていることはデータからも読み取れる。

採用活動は「種まき」をしなければ何も始まらないという考えのもと、採用から入職、職員育成というトータルの人材育成を組織として構築していく必要があり、この部分を重要課題と捉え、数年先を見据えた取り組みを展開していきたい。

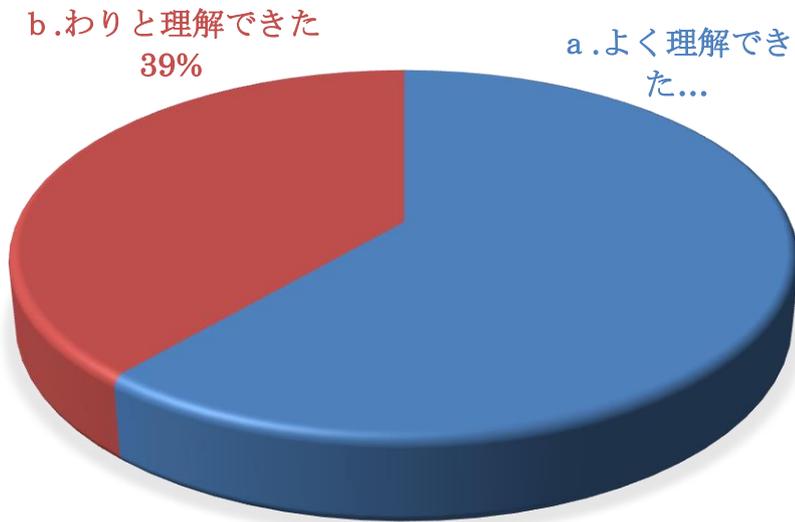
### 平成29年度主な実績（※介護等体験実習は参考数値）

	インターンシップ	採用会社説明会	※介護等体験実習
男性	1	4	4 辞退1
女性	6	5	3 辞退2
合計	7	9	7

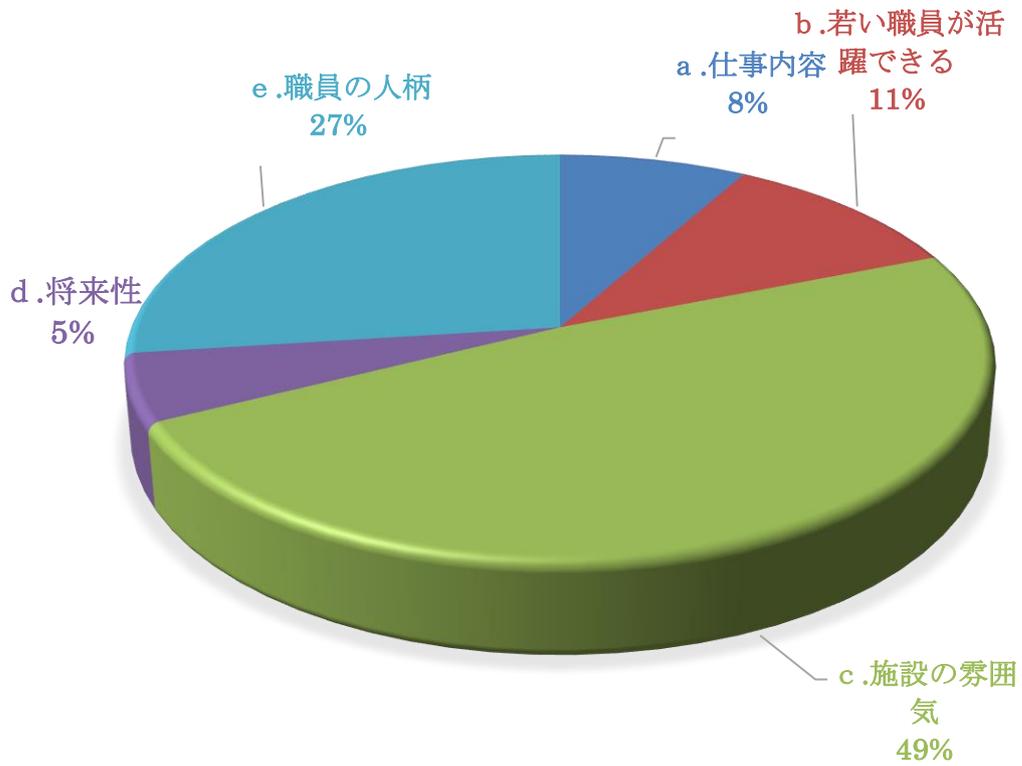
## 会社説明会実施後のアンケート結果



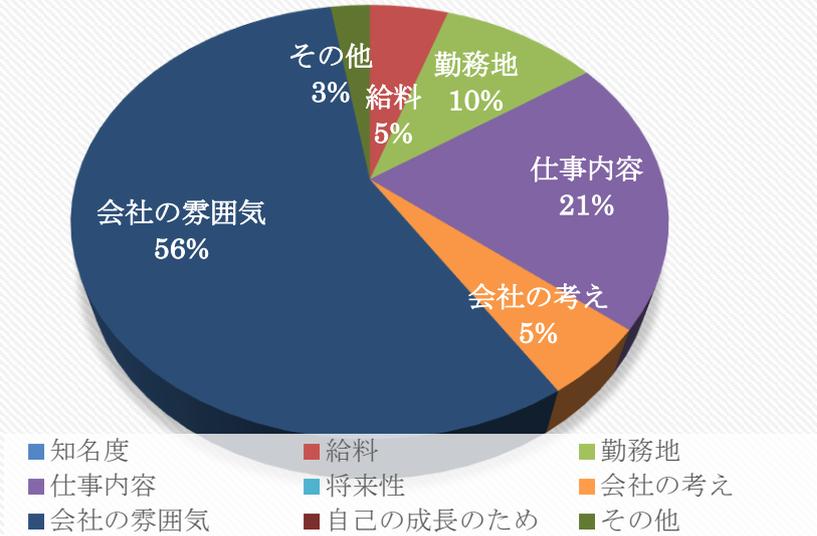
1.当法人についてどの程度ご理解いただきましたか？



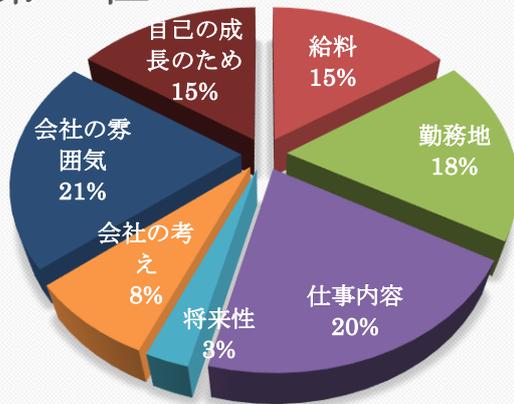
2.一番魅力を感じたのは何ですか？



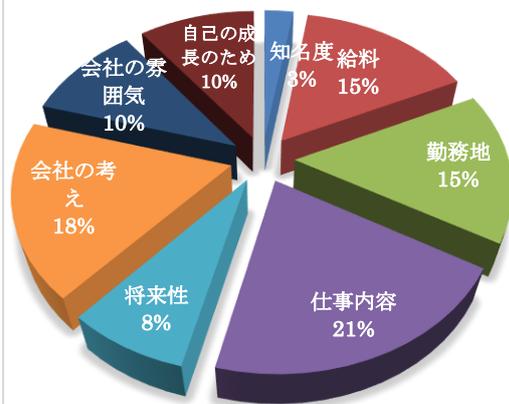
### 3.就職するにあたり重要視する 第1位



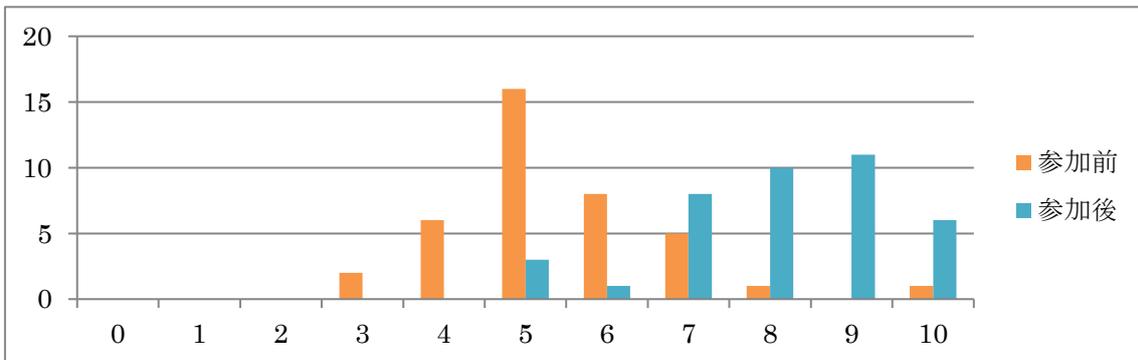
### 第2位



### 第3位



### 4. 法人説明会の参加前と後で当法人への興味（志望度）はどうなりましたか？



相談会イベント						
※2017年	十文字学園女子大学	学内合同就職説明会	記名	21	内定	0
4月3日						
※2017年	埼玉純真短大	マッチングフェア	記名	0	内定	0
9月26日						
※2017年	地域合同就職説明会久喜エリア	合同就職フェア	記名	0	内定	0
10月26日	埼玉県社協人材センター	主催				
※2018年	大宮	合同就職フェア	記名	8	内定	0
3月15日	埼玉県社協人材センター	主催				